

2024 年度 法学部 FD 活動実績

1. 2024 年度法学部 FD 活動方針と総括

2024 年度の法学部 FD 活動においては、大学の内部質保証委員会および法学部の自己点検・評価委員会ならびに全学 FD 委員会の指針に従い、法学部自己点検・評価委員会と協力・連携しながら、所属教員の教育能力を高め、また研究者としての向上を支援することにつながる活動を実施していくこと、を方針としていた。

以上の方針のもと行われた 2024 年度の活動について以下記述する。

2. 2024 年度法学部 FD 活動計画への応答

(1) 演習関連

アドバンスト演習については、旧カリキュラム生と新カリキュラム生が混在する年度であったが、2024 年度活動方針・活動計画に沿って適切に実施した。キャリア教育については、「キャリア入門 B」において、本年度もキャリアコンサルタントを迎えての授業を行うなど、充実を図った。

(2) 海外法文化研修関連

2024 年度は、カナダのカルガリー大学（研修 A）と韓国の韓南大学（研修 B）への研修が実施された。両大学への派遣に際しては、事前事後の指導（研究 A・B）がなされ、最終的には、各学生の研修を踏まえた研究成果については「2024 年度海外法文化研修報告書」としてまとめられた。

(3) 韓南大学との学術交流

2024 年度は、第 20 回の学術交流会が、2024 年 11 月 2 日から 3 日かけて、本学において実施された。本年は、本学の青木清名誉教授による「『家』の承継一日韓比較」及び韓南大学校法学部の高鉄雄助教授による「祭祀からみた日韓民法比較」の 2 テーマの報告がなされた。

(4) 司法特修コース

コース選択者に対し、2年から4年まで適切な演習の提供がなされた。またコース選択者の法務研究科科目の先行履修・聴講について、2024年度は学生3名に対し、法科大学院の6科目につき実施された。

(5) 法学会関連

学生に提供する行事として、2024年8月1日の名古屋刑務所（愛知県みよし市）の参観会、同年11月27日の名古屋税関中部空港税関支署の見学会、を計画・実施した。その他、各種講演会、研究会を実施した。加えて、例年通り学部学生への懸賞論文の募集を行い、教員の審査の下、受賞者が決定した。

ゼミナール委員会関係では、『法友南山』の編集・発行の作業支援のほか、サマーセミナー、卒業記念パーティ、新入生歓迎交流会が実施され、教員は学生の活動の支援を行った。

(6) FD 企画

法学部では、法学研究科と共催で、今年度新たに導入した英米法データベースの利用方法を主たるテーマとした「WestlawNext 利用講習会」（報告：トムソン・ロイター 上田茂斉氏）を2024年5月15日12:50~13:40（オンライン）に実施した。当日は、上田氏より、米国法を中心に文献・判例の調査方法を中心に説明いただき、質疑応答も活発になされた。